



2019年5月29日

各位

セントケア・グループ 株式会社ミレニア

茨城県つくばみらい市 新規認知症予防事業に ミレニア社の「あたまの健康チェック®」を採用

この度、株式会社ミレニア（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長野雄太）が全国の医療機関・健診センター、地方自治体、研究機関、企業・団体等に提供する簡易認知機能スケール「あたまの健康チェック®」が、つくばみらい市の2019年新規「認知症予防事業」における認知機能スケールとして採用されました。茨城県下の自治体としては、初めての採用となります。

2025年に国内認知症人口は700万人に達するとされ、介護を要する理由第1位といわれています。新たに政府より発表された認知症対策の大綱案でも、認知症領域の戦略の中核は「予防」であるとされ、2025年までの認知症人口削減目標も6%と具体的な数値で示されたところです。

■ つくばみらい市： 新規「認知症予防」事業

これまで認知機能検査を受けることのなかった方々に現在の認知機能の状態を把握していただき微細な認知機能の変化に早期に気づき、予防活動を促進することを目的とした『あたまの健康チェック®』＆『あたまとからだ元気教室』を新規事業として実施します。

認知症予防事業の重点：

- ・ 認知機能低下のリスク要因や認知症および軽度認知障害についての正しい知識の普及啓発
- ・ 軽度認知障害について早期発見および相談支援ができる体制づくり
- ・ 認知症を地域で予防していくまちづくり

期待される効果：

がんや生活習慣病等の疾病と同様、認知症も病気であり予防が大切です。

他の疾病が健康診断で元気な状態での数値を把握するのと同様に、認知機能についても以下の効果が期待されます。

- ・ 元気な状態での認知機能の把握
- ・ 定期的な認知機能のチェック
- ・ 若いころからの予防

市民の多くが認知機能低下の予防に関心を持つことにより、将来的な認知症による介護負担等が減少すると考えられます。

■ あたまの健康チェック® 概要

従来の検査法では評価の難しかった若年層や健常～MCI 群における認知機能の客観的定量観察に適した簡易認知機能スケール。認知機能の状態を表す MPI (Memory Performance Index) は、0-100 の値で経時的変化が観察でき定期的な状態観察や予防介入の効果測定にも適している。独自の人口統計評価アルゴリズムにより、専門職の手を煩わせることなく、検者の職能を問わず誰でも 10 分で高精度な評価が可能。クラウド版検査環境は、検者向けであり、知識や経験のない検者を画面指示で誘導。被検者は検者の問いに回答するだけ。米 FDA 治験や国内AMED 研究事業で採用されていることをはじめ、全国の医療機関・健診センター、研究機関、地方自治体、企業・団体により広く採用される新しい領域の認知機能スケール。国際的に権威のあるジャーナルでも多数の成果掲載歴があり、国内外の著名な医師、研究者からの評価も高い。

<本件に関するお問い合わせ>

セントケア・グループ 株式会社ミレニア

東京都中央区日本橋箱崎町 17-1

TEL : 03-5695-3028 / FAX:03-5695-3000

Mail: info@millennia-corporation.jp

URL: <https://www.millennia-corporation.jp/ninchi/mci/index.html>